

龍谷大学学友会体育局  
**日本拳法部**  
創部五十周年記念式典

平成二十七年七月十二日

龍谷大学顕真館



# 龍谷大学日本拳法部 創部50周年記念式典

## 記念式典（顕真館）

- 12:00 開式の挨拶  
合掌・礼拝  
重誓偈  
代表者 焼香  
来賓 祝辞  
  
記念撮影（顕真館前）

## 祝賀会（22号館）

- 13:15 開宴  
実行委員長 挨拶  
来賓 挨拶  
乾杯  
懇親  
指導者（監督・コーチ）挨拶  
龍谷大学学歌 斉唱  
  
15:00 閉会

※ 散会后、龍谷大学日本拳法部OB会 総会を開催します。

## 「龍谷大学日本拳法部の50年を顧みて」

龍谷大学 日本拳法部  
総監督 啓帛 義和



「創部50周年」記念式典を多数のご出席のもと開催されます事を感謝致します。

顧みれば、山あり谷ありの50年でありました。龍谷大学に日本拳法部が誕生したのは、昭和39年。世間は東京オリンピックで賑わい、新幹線が開通した年でした。深草学舎は旧練兵所跡、前の通りは「師団街道」。進駐軍接收施設の払い下げの建物は全体に青か緑のペンキ一色塗りで、トイレは当時としては進んだ洋式でしたが、裾が切れた足元がまるだしのドアが多くあり、芝生に噴水がある程度の簡素な学内でした。現在あるクラブの多くがこの前後に誕生し、施設は少なくともキャンパス内には活気があったことをよく覚えております。

発足した翌年、何もない我々のところに、快く招聘に応じてくださった故・乾龍峰師範のもと、武道全般、拳法実技など、時に楽しく、時に厳しく、講義を賜ったことは大きな財産です。先発の各大学に追いつき追い越せとよく稽古したのが、昨日のこの様です。

昭和50年「第20回関西学生拳法選手権大会」、平成5年「第6回全国大学選抜選手権大会」、平成5年「第38回全日本学生拳法選手権大会」における初優勝、「全日本学生拳法個人選手権大会」をはじめとする個人戦大会の優勝など数々の輝かしい戦績、中でも団体戦の勝利は格別に嬉しい記憶として残っています。

一方で、練習中の不慮の事故による大怪我や、部員死亡の悲しい出来事など、拳法部存続の危機も幾度かありました。その度に、現役部員たち、多くの先生方、OB・OG諸氏と共に乗り越える事ができました。

各地のOB・OGから届く「結婚しました」「昇進しました」「住職になりました」「子供が学校を卒業しました」等の便りも励みになっています。すでに鬼籍に入ったOBもあり、寂しくもありますが、その度毎に付き合っている御前進先生、岡部修先生はじめ多くの先生方にも感謝いたしております。

昨今の学生スポーツ界に於いても様々な問題が取りざたされております。龍谷大学日本拳法部も50年の歴史の上に立ち、襟を正して21世紀を活動して行かなければならないと思います。

こうして50年を回顧してみますと、様々な方々の顔が浮かびます。今日の龍谷大学日本拳法部があることを感謝しますとともに、引き続き、皆様のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 「創部50周年記念事業開催にあたり」

龍谷大学 日本拳法部  
創部50周年記念事業  
実行委員会 委員長  
吉田 達哉



我が龍谷大学日本拳法部は、昭和39年同志が集まり稽古を始めてから、50年の歳月が経ちました。

この50周年を記念し、記念式典、祝賀会を母校で開催される事を心より嬉しく思います。

50周年を迎える事が出来たのは、諸先輩方を始め各OBの方々の並々ならぬ努力の賜物と感じております。

我が日本拳法部は、50年の歴史の中で、全国制覇4回、全国選抜優勝5回、全関西及び西日本制覇11回、京都リーグ優勝23回という輝かしい戦績を収めて参りました。

昨今は残念ながら満足のいく戦績を残すことが出来ず、昨年は西日本選手権で2部落ちという苦汁をなめてしまいましたが、本年度は西日本選手権2部で優勝し、見事に1部に返り咲きました。

その後の京都リーグは準優勝、東京での全国大学選抜選手権では惜しくも第2試合で敗退しましたが、その大会で3位になった中央大学に代表者戦まで纏れる惜しい試合でした。今後の活躍に大いに期待がもてるチームに成長しております。

今回の50周年記念事業は、皆が集まり50周年を祝うと共に、世代を超えたOB、現役との親睦を深め、絆を深める事を目的としております。今一度、50年の歴史を見つめ直し、我が龍谷大学日本拳法部が益々発展していきます様、皆で盛り上げて参りましょう！

この度の開催に当たり、何度も打ち合わせに参加して頂きました実行委員の皆様、出欠確認を何度もして頂きましたOBの皆様、色々とアドバイスをして頂きました諸先輩の方々、納期の無い中、記念品の手配をして頂きました32期の田中OB、会場の手配をして頂きました山川監督、この記念誌の作成をして頂きました23期の辻出OB、ご尽力頂きまして本当にありがとうございます。

そして、お忙しい中、本日も列席頂きました来賓の皆様、遠くから駆けつけて頂きましたOBの方々に感謝致しますと共に厚く御礼申し上げます。

# 龍谷大学日本拳法部・藤友クラブ (OB会) 略年表

1964	昭和39	深草学舎において同好の志20名程度が集まり、旧8号館において稽古を始める
1965	昭和40	龍谷大学日本拳法部同好会となる。 故 乾龍峰 師範に師事。
1966	昭和41	龍谷大学学友会体育局認定同好会となる。
1967	昭和42	龍谷大学学友会体育局日本拳法部となる。 小林袈裟治経済学部助教授就任。 第12回関西学生拳法選手権大会初出場。 第12回全日本学生拳法選手権大会初出場(ベスト8)。 愛知学院大学と定期戦を結ぶ。
1968	昭和43	第13回関西学生拳法選手権大会4位。 京都リーグ戦発足(準優勝)。 中村哲経済学部助教授が部長に就任。 啓庸義和(2期)監督就任。
1969	昭和44	大塚 圭介経済学部助教授が部長に就任。
1970	昭和45	御前 進経済学部助教授が部長に就任。 第3回京都学生拳法リーグ戦初優勝。 OB会発足、規約を制定、会員21名。 [幹事長]啓庸義和 [副幹事長]田中孝嗣・三間康和 [企画長]吉田忠司・宍戸和之 [財務長]吉川行義 [連絡員]團利蔵・川崎修二。
1971	昭和46	北畑 春男(6期)関西学生拳法個人選手権準優勝 OB会幹事長に三間康和(3期)、副幹事長に吉川行義(2期)・川崎修二(4期)及びコーチに真原正二(5期)が就任。 OB会の名称を「藤友クラブ」と決定。(本願寺のご紋が「下がり藤」であり、その藤に集うという意味合いを持つ)
1972	昭和47	佐藤 公信(7期)関西学生拳法個人選手権準優勝。
1973	昭和48	大門英夫(8期)全国学生個人選手権大会準優勝。 — — 関西学生拳法個人選手権準優勝。 OB会長に吉川行義(2期)、副会長に吉田忠司(2期)・團利蔵(3期)・宍戸和之(4期)就任。
1974	昭和49	日本拳法部創部10周年記念を実施。 全日本社会人拳法選手権大会初出場。 大門英夫(8期)コーチに就任。
1975	昭和50	第20回関西学生拳法選手権大会初優勝。 西尾元秀(10期)最優秀選手賞受賞。 第8回京都学生拳法リーグ戦優勝。
1976	昭和51	第21回全日本学生拳法選手権大会準優勝。 大野修成(11期)技能賞受賞。 兵庫県「志んぐ荘」にてOB会臨時総会を開催。
1977	昭和52	夏季合宿中、事故発生・翌年度の試合出場自粛。
1980	昭和55	岡山県「湯の郷温泉」にてOB会総会。
1982	昭和57	第15回京都学生拳法リーグ戦準優勝。
1988	昭和63	第21回京都学生拳法リーグ戦優勝。 第33回関西学生拳法選手権大会ベスト4。 北田晃久(21期)コーチ就任。
1989	平成元	第22回京都学生拳法リーグ戦優勝。
1990	平成2	第23回京都学生拳法リーグ戦優勝。 第3回全国選抜大学選手権大会3位。 沖本雅春(26期)敢闘賞受賞。 第35回関西学生拳法選手権大会準優勝。 山口綱己(25期)第6回全日本学生拳法個人選手権大会準優勝。

1991	平成3	第4回全国選抜大学選手権大会準優勝。 沖本雅春(26期)敢闘賞受賞。 第36回関西学生拳法選手権大会ベスト4。 第24回京都学生拳法リーグ戦 優勝。 OB会・藤友クラブ役員選任。 [顧問]御前進・岡部修 [参与]乾耕蔵 [会長]宍戸和之(4期) [副会長]田中孝嗣(3期)・河原善雄(13期)・辻義弘(18期) [監査]吉田忠司(2期) [幹事長]関東地区 山口綱己(25期)、中国地区 信楽光二(18期)九州地区 北村直登(4期) 拳法部役員 [監督]啓庸義和六段(2期) [筆頭コーチ]真原正二六段(5期) [コーチ]大門英夫四段(8期)・北田晃久四段(22期)
1992	平成4	第25回京都学生拳法リーグ戦優勝。 第5回全国選抜大学選手権大会3位。 荒木竜也(29期)敢闘賞。 第37回関西学生拳法選手権大会3位。 荒木竜也(29期)敢闘賞。 第8回全日本学生個人選手権大会 優勝 荒木竜也(29期) 4位 千葉裕三(29期) 菅則子・我谷文野の女性OB会々員が誕生。
1993	平成5	OB会規約全部改正を総会で議決。 第38回関西学生拳法選手権大会優勝。 千葉裕三(29期)最優秀選手賞。 第6回全国選抜大学選手権大会初優勝。 荒木竜也(29期)最高殊勲選手賞。 千葉裕三(29期生)技能賞。 第9回全日本学生拳法個人選手権大会 準優勝 沖田慎治(28期) 4位 荒木竜也(29期) 第26回京都学生拳法リーグ戦優勝。 第38回全日本学生拳法選手権大会優勝。 沖田慎治(主将)最優秀選手賞。 平成5年度大学団体戦 全冠制覇 史上2校目。 創部30周年・全冠制覇祝賀会を大宮学舎「清和館」にて挙行。
1994	平成6	OB会・藤友クラブ役員就任 会計:西尾元秀(10期)・大阪地区幹事長:堤健蔵(6期) 第39回関西学生拳法選手権大会準優勝 荒木 竜也(29期)敢闘賞 第27回京都学生拳法リーグ戦優勝 新人戦 2位 渡辺昌和 3位 玉崎勝規 第10回全日本学生拳法個人選手権大会 3位千葉裕三 第39回全日本学生拳法選手権大会 ベスト8
1995	平成7	OB会・藤友クラブ規約の一部改正及び慶弔規則を制定 OB会・藤友クラブ役員改選 全国を9ブロックに分けて幹事長を設置、都道府県単位でOBが10名を超えた場合、都道府県単位で地区幹事長を設置。 [会長] 宍戸和之(4期) [副会長] 田中孝嗣(3期),河原善雄(13期),辻義弘(18期)[会計] 西尾元秀(10期) [監査] 吉田忠司(2期) [幹事長] 北海道:安藤親(23期)、関東:佐藤公信(7期)、東海:西川康泰(23期)、北陸:本多純(8期)、中国:信楽晃仁(18期)、四国:行村房夫(6期)、九州:北村直登(4期)、近畿:堤健蔵(6期)、大阪:堤健蔵(6期)、京都:上川正則(20期) [監督] 啓庸 義和六段(2期) [筆頭コーチ] 真原 正二六段(5期) [コーチ] 北田 晃久四段(21期)、山口 綱己(25期)、沖田 慎治(28期) 阪神淡路大震災発生に伴い、兵庫県在住のOB会費免除。 OB・現役合同紅白試合を開催。 第40回関西学生拳法選手権大会ベスト8 第8回全国大学選抜選手権大会ベスト8 第28回京都学生拳法リーグ戦優勝 新人戦 優勝 山川剛史・準優勝 甲斐千喜 第35回全日本拳法総合選手権大会 優勝 佐藤 隆之 *龍谷大学勢初優勝 第40回全日本学生拳法選手権大会 優勝 荒木 竜也 最優秀選手賞 藤友クラブ・全日本優勝祝賀会開催

# 龍谷大学日本拳法部・藤友クラブ (OB会) 略年表

1996	平成8	<p>第41回関西学生拳法選手権大会準優勝 佐藤隆之 敢闘賞</p> <p>第9回全国大学選抜選手権大会優勝 佐藤隆之 最優秀殊勲賞</p> <p>藤友クラブ・全日優勝祝賀会開催</p> <p>第29回京都学生拳法リーグ戦優勝 新人戦 優勝 中根央貴・準優勝 青山元洋 3位 荒木拓也</p> <p>第12回全日本学生拳法個人選手権大会 優勝 佐藤隆之 準優勝 山川剛史</p> <p>第41回全日本学生拳法選手権大会ベスト8</p>
1997	平成9	<p>第2回世界日本拳法大会 英国ロンドンで開催。 佐藤隆之選抜され出場。</p> <p>第1回西日本学生拳法選手権大会優勝 井上隆(31期)最優秀選手賞 * 対大阪府立大学戦で7人抜き</p> <p>第10回全国大学選抜選手権大会 3位</p> <p>第37回全日本総合選手権大会 優勝 佐藤隆之(30期・四段) 2回目の優勝 準優勝 増田敦己(30期・四段)</p> <p>第52回国民体育大会エキシビジョン大学の部 優勝 佐藤隆之(30期・四段)</p> <p>第13回全日本学生拳法個人選手権大会 優勝 井上隆 3位 山川剛史</p> <p>第30回京都学生拳法リーグ戦優勝 新人戦 優勝 大西 康夫 3位 岸本 健志 (いずれも34期)</p> <p>第42回全日本学生拳法選手権大会ベスト8</p>
1998	平成10	<p>OB会役員 [幹事長] 堤 健蔵(6期) [地区幹事長] 中部地区 朝倉良哉(31期)、近畿地区 小島 晴夫(3期)、大阪地区 佐藤 浩二(15期)、京都地区 上川 正則(20期)、兵庫地区 津田 大輔(28期)</p> <p>拳法部役員[コーチ] 荒木 竜也四段(29期)</p> <p>第2回西日本学生拳法選手権大会優勝 山川 剛史(32期)最優秀選手賞</p> <p>第11回全国大学選抜選手権大会ベスト8</p> <p>第31回京都学生拳法リーグ戦優勝 新人戦 準優勝 安田茂雄 3位 山下和彦</p> <p>第14回全日本学生拳法個人選手権大会 優勝 山川剛史</p> <p>第38回全日本総合選手権大会 優勝 佐藤隆之(30期・四段) 3回目の優勝 準優勝 山川剛史(32期・四段)</p> <p>第43回全日本学生拳法選手権大会 3位 中根央貴(3回生) 技能賞</p> <p>第3回世界日本拳法大会 米国ロサンゼルスで開催 藤友クラブから佐藤隆之(30期・四段)、増田敦己(30期・四段)、現役から山川剛史(32期・四段)が選抜出場。 創部35周年記念事業開催(平成11年1月31日(日)大宮学舎において)</p>
1999	平成11	<p>第3回西日本学生拳法選手権大会優勝 大西康夫 最優秀選手賞</p> <p>第12回全国大学選抜選手権大会ベスト8</p> <p>第1回日本拳法京都府民大会 優勝 山川剛史(32期・四段) 準優勝 中根央貴(33期・四段) 3位 増田敦己(30期・四段) 四位 青山元洋(33期・参段) * 藤友クラブ・現役ですべてのタイトル獲得</p> <p>第32回京都学生拳法リーグ戦 優勝 新人戦 優勝 花坂栄治 準優勝 森塚祐助</p> <p>第15回全日本学生拳法個人選手権大会 準優勝 中根央貴四段(33期)</p> <p>第32回全日本拳法社会人大会 優勝</p> <p>第39回全日本総合選手権大会 藤友クラブ・現役優勝 優勝 佐藤隆之四段(30期)通算4回目 女子の部 優勝 藤井本喜世子(34期)</p> <p>第44回全日本学生拳法選手権大会ベスト8</p>
2000	平成12	<p>第4回西日本学生拳法選手権大会優勝 内田広志 最優秀選手賞</p> <p>第2回日本拳法京都府民大会 優勝 山川剛史(32期) 準優勝 内田広志(参段)</p> <p>第33回京都学生拳法リーグ戦 優勝</p>

2000	平成12	<p>第1回西日本学生拳法個人選手権大会 [男子] 準優勝 内田広志(参段) 三位 花坂栄治(参段) [女子] 優勝 上村純子(式段) 準優勝 藤井本喜世子(参段)</p> <p>第13回全国大学選抜選手権大会 優勝 岸本健志(34期) 殊勲賞</p> <p>第16回全日本学生拳法個人選手権大会 女子の部 優勝 藤井本喜世子(参段) 準優勝 上村純子(式段)</p> <p>第33回全日本拳法社会人大会三位</p> <p>第39回全日本総合選手権大会 優勝 佐藤隆之 通算5回目(30期・四段) 三位 増田敦己(30期・四段) 四位 岸本健志(四段)</p> <p>第45回全日本学生拳法選手権大会 準優勝 岸本健志(主将) 敢闘賞</p>
2001	平成13	<p>第5回西日本学生拳法選手権大会 優勝 花坂栄治(参段・3回生) 最優秀選手賞</p> <p>第3回日本拳法京都府民大会 優勝 内田広志(四段) 準優勝 山川剛史(32期・四段)</p> <p>第34回京都学生拳法リーグ戦 優勝 新人戦 優勝 梅野孝明(1回生) 準優勝 西光荣一(1回生) 三位 北川信行(2回生) 四位 横林哲弥(1回生)</p> <p>第2回西日本学生拳法個人選手権大会 優勝 山口大輔(2回生・参段) 三位 内田広志(四段)</p> <p>第14回全国大学選抜選手権大会 三位 内田広志(主将)敢闘賞</p> <p>第39回全日本総合選手権大会 佐藤OB連覇ならず 女子の部 準優勝 藪井里絵(33期・参段)</p> <p>第17回全日本学生拳法個人選手権大会 準優勝 真田直彦(参段)</p> <p>第34回全日本拳法社会人大会 優勝 2回目</p> <p>第46回全日本学生拳法選手権大会 準優勝 内田広志(四段) 敢闘賞</p>
2002	平成14	<p>第6回西日本学生拳法選手権大会 優勝 山口大輔(3回生・四段) 最優秀選手賞</p> <p>第4回日本拳法京都府民大会 優勝 山口大輔(3回生・四段) 準優勝 山川剛史(32期・五段)</p> <p>第35回京都学生拳法リーグ戦 優勝 新人戦 優勝 片洗宇(1回生) 三位 上村公謙(1回生)</p> <p>第3回西日本学生拳法個人選手権大会 準優勝 花坂栄治(四段) 三位 山口大輔(四段)</p> <p>第15回全国大学選抜選手権大会 優勝 花坂栄治(四段) 殊勲賞</p> <p>第39回全日本総合選手権大会 優勝 佐藤隆之(30期・四段) 通算6回目 女子の部 優勝 上村純子(34期・参段) 初優勝</p> <p>第17回全日本学生拳法個人選手権大会 優勝 花坂栄治(四段)</p> <p>第35回全日本拳法社会人大会 優勝 通算3回目</p> <p>第47回全日本学生拳法選手権大会 優勝 森塚祐介(36期)最優秀選手賞</p>
2003	平成15	<p>第7回西日本学生拳法選手権大会 3位 山口大輔(主将・四段) 殊勲賞</p> <p>第5回日本拳法京都府民大会 優勝 増田敦己(30期・四段) 準優勝 山川剛史(32期・五段) 三位 梅野孝明(3回生・四段) 四位 山口大輔(主将・四段)</p> <p>第36回京都学生拳法リーグ戦 優勝 新人戦 優勝 岩尾篤(1回生・参段)</p> <p>第4回西日本学生拳法個人選手権大会 優勝 山口大輔(主将・四段) 準優勝 梅野孝明(3回生・四段)</p> <p>第16回全国大学選抜選手権大会 準優勝 山口大輔(主将・四段) 技能賞</p> <p>第18回全日本学生拳法個人選手権大会 優勝 山口大輔(主将・四段) 準優勝 梅野孝明(3回生・四段)</p> <p>第36回全日本拳法社会人大会 優勝 通算4回目</p> <p>第48回全日本学生拳法選手権大会 優勝 西光荣一(3回生・参段) 最優秀選手賞</p>

# 龍谷大学日本拳法部・藤友クラブ (OB会) 略年表

2004	平成16	<p>第8回 西日本学生拳法選手権大会 優勝</p> <p>第6回 京都府民大会 優勝 梅野孝明(4回生)、第3位 山川剛史(32期) 第4位 西光栄一(4回生)</p> <p>第37回 京都学生拳法リーグ戦 優勝</p> <p>第5回 西日本個人選手権大会 優勝 梅野孝明(4回生)</p> <p>第17回 全国選抜大学選手権大会 準優勝</p> <p>社会人個人選手権 優勝 山口大輔(37期)</p> <p>総合選手権大会 男子の部 優勝 梅野孝明(4回生)、 ベスト8 増田敦己(30期)</p> <p>第30回 龍峰杯優勝大会 高段の部 優勝 佐藤隆之(30期) 準優勝 山口大輔(37期)</p> <p>参段の部 優勝 岩尾篤(2回生) 準優勝 坂本直哉(4回生)</p> <p>式段の部 第3位 二宮工(3回生)、 初段の部 準優勝 金枝祐介(2回生)</p> <p>第37回 全国社会人大会 優勝</p> <p>第20回 全日本学生拳法個人選手権大会 優勝 岩尾篤(2回生)</p> <p>第40回 全国社会人大会 優勝</p> <p>第45回 孝徳会選手権大会 優勝</p> <p>ジャパンオープン 第3位</p> <p>第49回 全日本学生拳法選手権大会 ベスト8</p>	2007	平成19	<p>第40回 全国社会人大会 優勝</p> <p>第48回 孝徳会選手権大会 優勝</p> <p>第52回 全日本学生拳法選手権大会 準優勝</p> <p>敢闘賞 上田賢祉(3回生)</p>
2005	平成17	<p>第9回 西日本学生拳法選手権大会 優勝 最優秀選手賞 福田貴章(4回生)</p> <p>第7回 京都府民大会 優勝 増田敦己(30期)、準優勝 山口大輔(37期)、 第3位 山川剛史(32期)</p> <p>第38回 京都学生拳法リーグ戦 優勝</p> <p>第6回 西日本個人選手権大会 準優勝 岩尾篤(3回生)、第3位 上村公謙(4回生)</p> <p>第18回 全国選抜大学選手権大会 準優勝</p> <p>社会人個人選手権 優勝 山口大輔(第37期)</p> <p>総合選手権大会 男子の部 優勝 山口大輔(37期)、準優勝 内田広志(35期)</p> <p>第38回 全国社会人大会 優勝</p> <p>第21回 全日本学生拳法個人選手権大会 準優勝 岩尾篤(3年)</p> <p>第50回 全日本学生拳法選手権大会 準優勝</p>	2008	平成20	<p>第12回 西日本学生拳法選手権大会 ベスト8</p> <p>第10回 京都府民大会 優勝 山口大輔OB(37期) 準優勝 増田敦己(30期)、 第3位 青山祐大(4回生)</p> <p>第41回 京都学生拳法リーグ戦 優勝</p> <p>新人戦 優勝 松岡丈真(1回生) 準優勝 荒木伸頭(2回生)</p> <p>第21回 全国選抜大学選手権大会 ベスト8</p> <p>第8回 西日本学生個人選手権大会 優勝 上田賢祉(4回生)</p> <p>総合選手権大会 男子の部 優勝 岩尾篤(40期)、準優勝 佐藤隆之(30期)、 女子の部 第3位 上村純子(第34期)</p> <p>第34回 龍峰杯優勝大会 高段の部 第3位 鈴木啓太(4年生) 参段の部 第3位 倉岡剛(3年生)、 段外の部 第3位 岡島浩樹(2年生)</p> <p>第41回 全国社会人大会 優勝(8連覇、9度目の優勝)</p> <p>ジャパンオープン 第3位</p> <p>第53回 全日本学生拳法選手権大会 ベスト8</p>
2006	平成18	<p>第10回 西日本学生拳法選手権大会 優勝 最優秀選手賞 福田貴章(4回生)</p> <p>第8回 京都府民大会 優勝 増田敦己(30期)、準優勝 岩尾篤(4回生)</p> <p>第39回 京都学生拳法リーグ戦 優勝</p> <p>第7回 西日本個人選手権大会 優勝 岩尾篤(4回生)、上田賢祉(2回生)</p> <p>第19回 全国選抜大学選手権大会 優勝 殊勲賞 岩尾篤(4回生)</p> <p>総合選手権大会 男子の部 優勝 岩尾篤(4回生)</p> <p>第39回 全国社会人大会 優勝</p> <p>第22回 全日本学生拳法個人選手権大会 第3位 福田貴章(4回生・参段)</p> <p>第51回 全日本学生拳法選手権大会 準優勝</p> <p>敢闘賞 岩尾篤(4回生)</p>	2009	平成21	<p>第13回 西日本学生拳法選手権大会 ベスト8</p> <p>第11回 京都府民大会 準優勝 鈴木啓太(4年生)</p> <p>第42回 京都学生拳法リーグ戦 準優勝</p> <p>第22回 全国選抜大学選手権大会 ベスト8</p> <p>第40回 社会人個人選手権 優勝 山口大輔(37期)</p> <p>総合選手権大会 男子の部 第3位 佐藤隆之(30期)、 女子の部 準優勝 上村純子(34期)</p> <p>第25回全日本学生拳法個人選手権大会 準優勝 倉岡剛(3回生)</p>
2007	平成19	<p>第11回 西日本学生拳法選手権大会 準優勝</p> <p>第9回 京都府民大会 優勝 山口大輔(37期)、準優勝 柳本直毅(4回生)、 第3位 増田敦己(30期)</p> <p>第40回 京都学生拳法リーグ戦 優勝</p> <p>新人戦 優勝 倉岡剛(1回生)</p> <p>第20回 全国選抜大学選手権大会 第3位</p> <p>敢闘賞 柳本直毅(4回生)</p> <p>総合選手権大会 男子の部 優勝 佐藤隆之(30期) 準優勝 岩尾篤(40期) 第3位 青山祐大(3回生)</p> <p>女子の部 第4位 上村純子(33期)</p> <p>第33回 龍峰杯優勝大会 高段の部 準優勝 青山祐大(3回生) 第3位 柳本直樹(4回生)</p> <p>参段の部 第3位 上田賢祉(3回生)</p> <p>初段の部 第3位 金原龍太郎(1回生)</p> <p>段外の部 優勝 荒木伸頭(1回生)</p>	2010	平成22	<p>第12回 京都府民大会 優勝 山口大輔OB(37期・四段)</p> <p>第43回 京都学生拳法リーグ戦 準優勝</p> <p>第36回 龍峰杯優勝大会 初段の部 優勝 伊藤誠(2回生)、 第3位 橋本一樹(1回生)</p>
2007	平成19	<p>第11回 西日本学生拳法選手権大会 準優勝</p> <p>第9回 京都府民大会 優勝 山口大輔(37期)、準優勝 柳本直毅(4回生)、 第3位 増田敦己(30期)</p> <p>第40回 京都学生拳法リーグ戦 優勝</p> <p>新人戦 優勝 倉岡剛(1回生)</p> <p>第20回 全国選抜大学選手権大会 第3位</p> <p>敢闘賞 柳本直毅(4回生)</p> <p>総合選手権大会 男子の部 優勝 佐藤隆之(30期) 準優勝 岩尾篤(40期) 第3位 青山祐大(3回生)</p> <p>女子の部 第4位 上村純子(33期)</p> <p>第33回 龍峰杯優勝大会 高段の部 準優勝 青山祐大(3回生) 第3位 柳本直樹(4回生)</p> <p>参段の部 第3位 上田賢祉(3回生)</p> <p>初段の部 第3位 金原龍太郎(1回生)</p> <p>段外の部 優勝 荒木伸頭(1回生)</p>	2011	平成23	<p>第7回 奈良県選手権大会 優勝 西口寛一(第41期)</p> <p>第13回 京都府民大会 岡島浩樹(4回生・参段)</p> <p>第44回 京都学生拳法リーグ戦 第3位</p> <p>新人戦 優勝 廣瀬脩(1回生・参段)</p> <p>第27回 全日本学生拳法個人選手権大会 第3位 岡島浩樹(4回生・参段)</p> <p>第17回 白虎会大会 式段の部 第3位 伊藤誠 山川剛史(32期)が監督に就任。コーチに北田晃久(21 期)、福田貴章(40期)が就任。</p>
2007	平成19	<p>第11回 西日本学生拳法選手権大会 準優勝</p> <p>第9回 京都府民大会 優勝 山口大輔(37期)、準優勝 柳本直毅(4回生)、 第3位 増田敦己(30期)</p> <p>第40回 京都学生拳法リーグ戦 優勝</p> <p>新人戦 優勝 倉岡剛(1回生)</p> <p>第20回 全国選抜大学選手権大会 第3位</p> <p>敢闘賞 柳本直毅(4回生)</p> <p>総合選手権大会 男子の部 優勝 佐藤隆之(30期) 準優勝 岩尾篤(40期) 第3位 青山祐大(3回生)</p> <p>女子の部 第4位 上村純子(33期)</p> <p>第33回 龍峰杯優勝大会 高段の部 準優勝 青山祐大(3回生) 第3位 柳本直樹(4回生)</p> <p>参段の部 第3位 上田賢祉(3回生)</p> <p>初段の部 第3位 金原龍太郎(1回生)</p> <p>段外の部 優勝 荒木伸頭(1回生)</p>	2012	平成24	<p>第45回 京都学生拳法リーグ戦 第3位</p> <p>第54回 孝徳会大会 男子団体の部 準優勝</p>
2007	平成19	<p>第11回 西日本学生拳法選手権大会 準優勝</p> <p>第9回 京都府民大会 優勝 山口大輔(37期)、準優勝 柳本直毅(4回生)、 第3位 増田敦己(30期)</p> <p>第40回 京都学生拳法リーグ戦 優勝</p> <p>新人戦 優勝 倉岡剛(1回生)</p> <p>第20回 全国選抜大学選手権大会 第3位</p> <p>敢闘賞 柳本直毅(4回生)</p> <p>総合選手権大会 男子の部 優勝 佐藤隆之(30期) 準優勝 岩尾篤(40期) 第3位 青山祐大(3回生)</p> <p>女子の部 第4位 上村純子(33期)</p> <p>第33回 龍峰杯優勝大会 高段の部 準優勝 青山祐大(3回生) 第3位 柳本直樹(4回生)</p> <p>参段の部 第3位 上田賢祉(3回生)</p> <p>初段の部 第3位 金原龍太郎(1回生)</p> <p>段外の部 優勝 荒木伸頭(1回生)</p>	2013	平成25	<p>第46回 京都学生拳法リーグ戦 第3位</p> <p>新人戦 優勝 篠田龍空(1年生・初段)</p> <p>第39回 龍峰杯優勝大会 式段の部 3位 中井亮介(1年) 女子段外の部 3位 田附美優(1年)</p>
2007	平成19	<p>第11回 西日本学生拳法選手権大会 準優勝</p> <p>第9回 京都府民大会 優勝 山口大輔(37期)、準優勝 柳本直毅(4回生)、 第3位 増田敦己(30期)</p> <p>第40回 京都学生拳法リーグ戦 優勝</p> <p>新人戦 優勝 倉岡剛(1回生)</p> <p>第20回 全国選抜大学選手権大会 第3位</p> <p>敢闘賞 柳本直毅(4回生)</p> <p>総合選手権大会 男子の部 優勝 佐藤隆之(30期) 準優勝 岩尾篤(40期) 第3位 青山祐大(3回生)</p> <p>女子の部 第4位 上村純子(33期)</p> <p>第33回 龍峰杯優勝大会 高段の部 準優勝 青山祐大(3回生) 第3位 柳本直樹(4回生)</p> <p>参段の部 第3位 上田賢祉(3回生)</p> <p>初段の部 第3位 金原龍太郎(1回生)</p> <p>段外の部 優勝 荒木伸頭(1回生)</p>	2014	平成26	<p>第18回 西日本学生拳法選手権大会 男子1部から2部に降格</p> <p>第47回 京都学生拳法リーグ戦 第3位</p> <p>新人戦 優勝 田原一樹(1回生・式段)</p> <p>準優勝 松岡利章(1回生・初段) 金重広輝(2回生・初段)</p>
2007	平成19	<p>第11回 西日本学生拳法選手権大会 準優勝</p> <p>第9回 京都府民大会 優勝 山口大輔(37期)、準優勝 柳本直毅(4回生)、 第3位 増田敦己(30期)</p> <p>第40回 京都学生拳法リーグ戦 優勝</p> <p>新人戦 優勝 倉岡剛(1回生)</p> <p>第20回 全国選抜大学選手権大会 第3位</p> <p>敢闘賞 柳本直毅(4回生)</p> <p>総合選手権大会 男子の部 優勝 佐藤隆之(30期) 準優勝 岩尾篤(40期) 第3位 青山祐大(3回生)</p> <p>女子の部 第4位 上村純子(33期)</p> <p>第33回 龍峰杯優勝大会 高段の部 準優勝 青山祐大(3回生) 第3位 柳本直樹(4回生)</p> <p>参段の部 第3位 上田賢祉(3回生)</p> <p>初段の部 第3位 金原龍太郎(1回生)</p> <p>段外の部 優勝 荒木伸頭(1回生)</p>	2015	平成27	<p>第19回 西日本学生拳法選手権大会 男子2部 優勝 最優秀選手賞 田原一樹(2回生・式段)</p> <p>第48回 京都学生拳法リーグ戦 準優勝</p> <p>第36回 三重県総合大会 優勝 上村公謙(39期)</p> <p>第16回 西日本学生拳法個人選手権大会 式段の部 3位 田原一樹(2回生)</p>

# 龍谷大学日本拳法部 主な戦績（団体戦）

## ■ 関西学生拳法選手権大会

- 第13回 第4位
- 第20回 優勝
- 第33回 第4位
- 第35回 準優勝
- 第36回 第4位
- 第37回 第3位
- 第38回 優勝
- 第39回 準優勝
- 第40回 〆
- 第41回 準優勝

## ■ 西日本学生拳法選手権大会

- 第1回 優勝
- 第2回 優勝
- 第3回 優勝
- 第4回 優勝
- 第5回 優勝
- 第6回 優勝
- 第7回 第3位
- 第8回 優勝
- 第9回 優勝
- 第10回 優勝
- 第11回 準優勝
- 第12回 〆
- 第13回 〆

## ■ 全日本学生拳法選手権大会

- 第12回 〆
- 第21回 準優勝
- 第38回 優勝
- 第39回 〆
- 第40回 優勝
- 第41回 〆
- 第42回 〆
- 第43回 第3位
- 第44回 〆
- 第45回 準優勝
- 第46回 準優勝
- 第47回 優勝
- 第48回 優勝
- 第49回 〆
- 第50回 準優勝
- 第51回 準優勝
- 第52回 準優勝
- 第53回 〆

## ■ 京都学生拳法リーグ戦

- 第3回 優勝
- 第8回 優勝
- 第15回 準優勝
- 第21回 優勝
- 第22回 優勝
- 第23回 優勝
- 第24回 優勝
- 第25回 優勝
- 第26回 優勝
- 第27回 優勝
- 第28回 優勝
- 第29回 優勝
- 第30回 優勝
- 第31回 優勝
- 第32回 優勝
- 第33回 優勝
- 第34回 優勝
- 第35回 優勝
- 第36回 優勝
- 第37回 優勝
- 第38回 優勝
- 第39回 優勝
- 第40回 優勝
- 第41回 優勝
- 第42回 準優勝
- 第43回 準優勝
- 第48回 準優勝

## ■ 全国選抜大学選手権大会

- 第3回 第3位
- 第4回 準優勝
- 第5回 第3位
- 第6回 優勝
- 第6回 〆
- 第9回 優勝
- 第10回 第3位
- 第11回 〆
- 第12回 〆
- 第13回 優勝
- 第14回 第3位
- 第15回 優勝
- 第16回 準優勝
- 第17回 準優勝
- 第18回 準優勝
- 第19回 優勝
- 第20回 第3位
- 第21回 〆
- 第22回 〆



# 龍谷大学学歌

学歌作成委員会 作詞  
山田耕筳 作曲

1. 永久(とわ)に揺(ゆる)がぬ みのり聞(き)き  
寄(よ)する思想(しそう)の 波(なみ)しずめ  
久遠(くおん)の光(ひかり) まどかなる  
真理(しんり)の大樹(おおき) 榮(さか)ゆけば  
見(み)よ黎明(れいめい)の 空澄(そらす)みて  
吾(われ)等(ら)が学府(がくふ) 光輝(こうき)あれ
2. 仰(あお)げば高(たか)き 雪山(せっせん)の  
姿(すがた)をうつす 御教(みおしえ)に  
おもいをはせて たゆみなく  
心(こころ)をみがく 幾千(いくせん)の  
同信(どうしん)の友(とも) 相集(あいつど)う  
吾(われ)等(ら)が学府(がくふ) 光輝(こうき)あれ
3. 世運(せうん)の流(なが)れ 遷(うつ)るとも  
正法(しょうほう)萬古(ばんこ) 変(か)わりなし  
公孫樹(いちょう)の蔭(かげ)に 法幢(ほうどう)を  
真心(まごころ)こめて 守(まも)りゆく  
若(わか)き学徒(がくと)の 相集(あいつど)う  
吾(われ)等(ら)が学府(がくふ) 光輝(こうき)あれ

猪谷大学法律部

